西鶴賀便り

発行
長野市中心市街地活性化協議会
長野県建築士会 ながの支部
協力
西鶴賀町

初午祭 自由研究

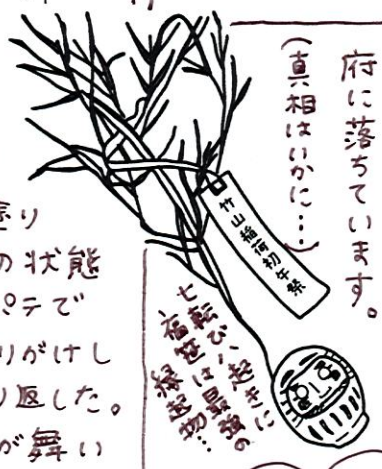
2月19日(日)の初午祭にお参りしてきました。昨年は参拝作法がうろ覚えで目を泳がせてしまったので、今年はしっかり下調べしていざ、竹山稲荷神社へ。財布を忘れて一旦戻るミスはあったものの、無事参拝を果たすことができました。

ー自由研究メモー

- 参拝は二礼二拍手一礼(いつもは作法の貼り紙もある)
- 稲荷社で行われる2月の最初の午の日の縁日が「初午祭」
- 祀られているのは「稲成る」「稲を荷なう」などが由来(諸説あり)の農業の神様
- 元は農業だが、商売繁盛・家内安全・防災にもご利益あり
- 稲荷神のお使い(霊獣)はキツネ。好物は油揚げ
- 松代町の「竹山随護稲荷神社」から分霊し、社殿が造られたのは95~101年前。文献によって三説ある模様です。
  ① 「長野市誌」 ※大正11年(1922年)
  ② 「のびゆく長野市」「長野市制八十年史」 ※大正12年(1923年)
  ③ 「わがまちあるき案内」 ※分霊は大正11年で、社殿が昭和3年(1928年)建立

※神社の石碑には「昭和3年にこの地に建立」とあります。

また、以前配られていた「笹だるま」が、なぜだるま+笹なのか…実はずっと不思議だったのですが、竹はその特性(常緑・生命力・殺菌力・薬用効果)でお清めなどにも使われる存在であることと、商売繁盛のえびすさまが竹のつり竿を持っていること、まっすぐに伸びる竹の姿は商売人の正直な心を象徴して縁起物(福笹)だからだという ネット情報が今のところ自分の中では府に落ちています。(真相はいかに…)



ちなみに西鶴賀周辺には、ほかにも
菊屋稲荷社(緑町)、仲町稲荷社(西後町)
千石稲荷社(南石稲荷社)、樋下稲荷社(三輪)
があるようです。

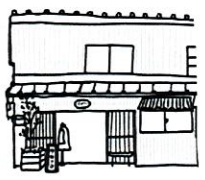
3回連載最終回。おつきあいありがとうございました!!

西鶴賀エリアリノベーション年表

ホームページにも活動記録がちょこっとあります。

2021年

1月 古着屋「グローブアマランス」オープン!!



3月 現「C9」のリノベーションワークショップ開催。6月までほぼ毎週末行う。

7月 ウェブ制作会社ナトリウムと設計工房CRESSのシェアオフィス「C9」オープン。

8月 C9で「空き家を使ってリノベーション相談会」開催。

9月 綿貫さん・久米さんが、働く女性のコミュニティ『Biotope』で西鶴賀エリアリノベについてプレゼン。詳細を聞きたい人が続出する。3回に分けてC9で説明会を開催。3回目の説明会(10月)に、知り合いの紹介でたまたま飛び入り参加してきたのが、現在のシードル販売所「Cider & Company」の杉山さんだった◎

10月 西鶴賀便り 第1号発行

11月 「Cider & Company」の入居が決まる。

2022年

3月 現「Cider & Company」の壁塗りワークショップ開催。壁や天井の状態がペンキ塗りに適しておらず、パテで穴やキズを埋めて、凹凸をやすりがけしてまたペンキを塗って…を繰り返した。天井のやすりがけは全身に粉が舞い落ち、まつげの先まで真っ白になった。

4月 「シェアハウス 宣千」オープン

4月 「Cider & Company」オープン

5月 長野青年会議所主催の3日間のイベント「ノスタルジックストリート西鶴賀」開催

6月 「下町食堂つるとし」オープン。建物が居抜きだったのでスムーズに開店した。

7月 「西鶴賀の変遷を語る座談会」を開催。理容イガラシの五十嵐さんや東鶴賀の山田さんと昔の写真を囲んでお話しした。

9月 8月・9月と、9軒長屋前の植栽ワークショップ開催。プランターを置いただけで、9軒長屋全体に人がいそうな気配が増してきた。水やり中に「きれいですね」「ここは何の建物ですか?」と声をかけられることも増えた。緑の力おそるべし。

編集室より

2月3月で開催中の9軒長屋の催しですが「空き家を使ってリノベーション相談会」が予想外(?!)の大反響。ご予約をたくさんいただいております。このご縁が、今後の西鶴賀や9軒長屋につながっていくことがもしあったらうれしいなぁ…

そして2023年へ つづく